八高支スクールライフ

青森県立八戸高等支援学校
発行：令和５年１０月２０日
第６号

かかりたくない病気

運転中、とあるラジオ番組を聞いていると、「10月から新型コロナウイルス感染症の検査費用と治療薬が自己負担になります。」という情報が流れてきました。

５月からインフルエンザと同等の５類移行となり、感染者数も減ってきたと思っていましたが、夏頃から再び感染者数が増加していますので、我々も関係ないとは言えませんので、少し調べてみました。

・コロナＰＣＲ検査費用：2,750 円
・コロナ治療薬：9,000 円
※どちらも３割負担の場合です。

検査費用も治療薬代も、９月までは国が負担していたので無料でしたが、これからはけっこう高くなりますね…。ラジオの方はタイトルの通り「ますますかかりたくない病気になりましたねぇ。」と締めくくっていました。

コロナ禍となってから鳴りを潜めていたインフルエンザも、今年はすでに流行している地域があるようです。手洗い、うがい、消毒など、自分でできる感染対策をしっかりして、生活していくことが大切ですね。（保健部主任　山口）

八高支祭〔10 月 13、14 日〕

１０月１３、１４日の２日間開催しました。１日目はオーディションを勝ち抜いた１４グループが、ダンスや歌などの発表をし、大きな拍手や手拍子で会場全体が大盛り上がりでした。２日目の製品の販売や実演、製作過程の説明は、今年度は、感染症対策も緩和され、入場制限を設けない形となり、たくさんの方々に来校していただきました。

生徒たちは、日頃の学習の成果を発揮し、保護者や地域の方々に笑顔で接客をすることができました。自分たちが心を込めて作った製品が、目の前で実際に買っていただける様子を見て、大変喜んでいました。

製品の購入やたくさんの励ましをくださり大変ありがとうございました。（沢田）

種差トレイルウオーク〔9 月 26 日〕

産業科でトレイルウオークを行いました。学校から種差海岸へ向けて片道約８㎞を完歩しました。葦毛崎展望台付近で少し雨が降ってきましたが、声を掛け合いながら全員で種差海岸までたどり着くことができました。昼食は全員で同じお弁当を味わい、おしゃべりをしながら和やかな時間を過ごしました。あいにくの雨でしたが、次の日に欠席する生徒もなく、体調管理が身に付いてきている姿を見て、社会に出るための力がついてきたと嬉しく思いました。（阿部水）

ふるさと大使セミナー〔10 月 17 日〕

八戸特派大使で歌手の吉岡リサ氏を招いて「八戸大使ふるさとセミナー」を開催しました。軽快で明朗なトークと、優しく響く歌声に聴き入りながら、音楽や言葉の美しさを体験することができました。聴いたことのある楽曲がたくさん選曲されていたため、生徒達にも分かりやすく、一緒に歌ったり、踊ったりしながら楽しむことができました。アンコールでは、吉岡氏と生徒達が一体となってパフォーマンスを行い大盛況。よい思い出になりました。ありがとうございました。（小又）

緑と花の花壇コンクール入賞〔10 月 17 日〕

ワークラーニング環境整備班で取り組んでいる花壇整備が、令和５年度八戸市「緑と花」の花壇コンクールで、「八戸造園建設業協会理事長賞」を受賞しました。１０月１７日（火）八戸市公民館で行われた表彰式に、班長（３年生）が出席しました。これを機会に、さらに環境整備や美化に頑張っていこうと、班員一同気持ちを新たにしました。（松倉）